

保護者の皆様及び生徒のみなさん

大阪府立天王寺高等学校
校長 立川 猛 士

令和6年度 学校評価アンケート（学校教育自己診断）回答のまとめ

向春の候、皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて本校は、日本や国際社会で活躍する真のリーダーを育成することをめざし、文武両道、授業第一、本物志向、鍛練主義を实践してさまざまな教育活動に取り組んでまいりました。これらの教育活動を発展させ、積極的に推し進めるため、昨年10月に「学校教育自己診断」を実施し、分析・検討を行いました。このたび、総括した結果がまとまりましたので、ここにお知らせします。

今後とも豊かで質の高い教育環境づくりをめざしておりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。

生徒回答集計 回答数 981（1年 355・2年 348・3年 278 回収率 91.7%）

「非常にそう思う」と「そう思う」という肯定的な意見の割合（%）を掲載している。

差・・・昨年度との%の差

分析・・・コメントを掲載している項目

	質問項目	R6	R5	差	分析
1	学校に行くのが楽しい。	92	91	+1	
2	学校での友人関係はうまくいっている。	98	96	+2	
3	本校の様々な特色は、全体的に見て自分に合っている。	90	86	+4	
4	本校の活動にはリーダーシップの育成に役立つものがあると感じる。	93	91	+2	
5	本校の活動を通じて、他校と交流の機会がある。	77	70	+7	○
6	内容が分かりやすく、満足できる授業が多い。	92	92	0	
7	学校の授業だけで、進路希望達成に必要な学力をつけてくれる。	80	78	+2	○
8	授業の理解度に応じて、生徒が参加できる補習や講習が行われる。	94	93	+1	
9	教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。	96	95	+1	
10	課題研究等授業でICT機器を活用している。	93	91	+2	
11	いじめや学校生活の悩みや相談に親身になって応じてくれる教員がいる。	92	91	+1	
12	相談室や保健室に行きやすい。	80	73	+7	○
13	学校生活についての先生の指導には納得できる。	82	82	0	
14	将来の生き方や職業選択等について必要な情報を提供してくれる。	96	96	0	
15	大学生などの卒業生の話を聞く機会が多く、刺激を受ける。	92	91	+1	
16	専門家の講演会や大学の見学など、自分の進路に関わる行事が豊富である。	97	96	+1	
17	桃陰セミナー・部学習日・土曜講習があることは、土曜日の活用と自らの学習に役立っている。	78	75	+3	○
18	学校行事の多いことは、本校の特色として魅力的だ。	96	95	+1	○
19	学校行事全般に対して、積極的に参加している。	94	93	+1	
20	行事等においてホームルーム活動に積極的に関わっている。	90	90	0	
21	部活動に参加している。（※右の数値は参加している生徒の割合）	99	99	0	
22	部活動に積極的に取り組んでいる。（対象：20.部活動に参加している生徒）	95	94	+1	
23	部活動と勉強との両立ができている。（対象：20.部活動に参加している生徒）	80	79	+1	

24	部活動での人間関係はうまくいっている。(対象：20.部活動に参加している生徒)	94	92	+2	
25	本校の人権教育によって、人権についての意識が高まった。	91	87	+4	○
26	命の大切さや社会のルールを学ぶ機会が多い。	92	89	+3	○
27	清掃活動に取り組み清潔が保たれている。	87	82	+5	○
28	学校の施設・設備全般について、適切に整備されている。	82	79	+3	
29	学習講座は有意義である（1年4月）	91	89	+2	
30	林間学校は有意義である。（1年7月）	97	95	+2	○
31	水泳訓練は有意義である（1年7月）	97	94	+3	
32	社会人講演会は有意義である。（1年11月）	95	92	+3	
33	京大見学会は有意義である。（2年6月）	97	96	+1	
34	修学旅行は有意義である。（2年10月）	99	98	+1	
35	課題研究は有意義である。（2年）	91	89	+2	
36	学部学科紹介は有意義である。（3年6月）	98	98	0	
37	天高アカデメイアは有意義である。	89	92	-3	
	SSH, GL 事業は有意義である。	95	94	+1	

大多数の項目において「よく当てはまる」の割合が増加している。「よく当てはまる」の割合が5ポイント以上アップした項目は、「他校との交流」「学校の授業だけで進路希望達成に必要な学力がつく」「相談室や保健室に行きやすい」「桃陰セミナー・部学習日・土曜講習は休日の活用と自習に役立つ」「学校行事の多いことは本校の特色として魅力的だ」「人権教育によって人権意識が高まった」「命の大切さやルールを学ぶ機会が多い」「清掃活動に取り組む清潔が保たれている」「施設・設備全般について適切に整備されている」「林間学校は有意義」「水泳訓練は有意義」「社会人講演会は有意義」となっている。

保護者回答集計

回答数 874（1年 285・2年 278・3年 311 回収率 81%）

「非常にそう思う」と「そう思う」という肯定的な意見の割合（%）を掲載している。

差・・・昨年度との%の差

分析・・・コメントを掲載している項目

	質問項目	R6	R5	差	分析
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	91	91	0	
2	子供は自分のクラスが楽しいと言っている。	89	89	0	
3	学校の雰囲気がよく、子供たちが生き生きしている。	96	96	0	
4	先生は子供を理解している。	92	89	+3	
5	この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。	98	98	0	
6	学校は、教育目標をわかりやすく伝えている。	94	94	0	
7	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	80	77	+3	
8	学習の内容や進捗等を、懇談や通信などによって知ることができる。	83	83	0	
9	課題研究等授業で ICT 機器を活用している。	87	82	+5	
10	学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	88	89	-1	○
11	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してく	88	87	+1	
12	学校は子どもの命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	95	93	+2	
13	学校の生徒指導の方針に共感できる。	90	90	0	
14	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	85	84	+1	
15	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	95	95	+1	

16	進路指導面で学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	83	86	-3	○
17	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	95	94	+1	
18	学校行事は、子どもが積極的に参加できるよう工夫されている。	96	97	-1	○
19	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	97	95	+2	
20	この学校の部活動は活発である。	98	98	0	
21	学校は、環境、国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。	93	91	+2	
22	学校は、保護者が授業を参観しやすい工夫をおこなっている。	91	91	0	
23	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	90	91	-1	○
24	PTA 活動には参加しやすい。	69	70	-1	○

概ね高い関心を寄せていただいております、各質問に対しても肯定的な意見が多く寄せられた。大多数の項目において「よく当てはまる」の割合が微増しているが、「よく当てはまる」＋「やや当てはまる」の合計において微減となっている項目が5項目。いずれも3ポイント減以下であるが、「進路指導面では学校と家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている」の項目の肯定的意見が2.8ポイント減、「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」の肯定的意見が1.2ポイント減となっている。今後、より学校の教育方針等をご理解いただくため、保護者との意思疎通、情報共有を密としていく仕組みづくり必要である。

教職員回答集計

回答数 71 (回収率 100%)

「非常にそう思う」と「そう思う」という肯定的な意見の割合(%)を掲載している。

差・・・昨年度との%の差

分析・・・コメントを掲載している項目

	設問	R6	R5	差	分析
1	この学校の教育活動には、生徒や保護者のニーズにあった他の学校にない特色がある。	100	99	+1	
2	この学校の教育活動は、他者への共感・社会貢献の意識を養い、リーダーシップの養成に役立っている。	97	94	+3	
3	この学校の「教育目標」や「天高育成プログラム」を十分に理解し、それを意識して日々の教育活動にあたっている。	99	96	+3	
4	教育活動全般にわたって評価を行い、次年度の計画に生かしている。	93	96	-3	
5	入学した生徒の能力を十分伸ばして卒業させている。	91	94	-3	
6	各教科において、教材の精選・工夫を行い、学問への興味・関心を醸成している。	97	99	-2	
7	到達度の低い生徒に対する学習指導を、積極的に行っている。	93	93	0	
8	学習意欲の高い生徒に対する学習指導を、積極的に行っている。	97	91	+6	
9	教育相談体制が整備されている。	99	97	+2	
10	本校の生活指導の方針について生徒・保護者に説明を行い、十分な指導が行われている。	96	93	+3	
11	本校ではカウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	99	93	+6	
12	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており迅速に対応することができている。	97	90	+7	
13	進路指導に関して、生徒へのきめ細かい情報提供や適切なアドバイスを行っている。	96	96	0	
14	進路指導について必要な情報収集や教職員に対する研修を、適切に行っている。	97	93	+4	
15	桃陰セミナー・部学習日・土曜講習があることは、生徒の土曜日の活用・学習活動に有効である。	93	91	+2	
16	学校行事の多いことは、本校の特色として魅力的だ。	94	86	+8	
17	各学校行事への取り組みにあたり、本校教育活動全体に果たす役割が十分認識されている。	92	87	+5	

18	学校がおこなっている国際交流事業（オーストラリア派遣やアメリカ海外研修・他国生徒受け入れ）は、有意義である。	100	97	+3	
19	各学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	93	90	+3	
20	本校教育活動における部活動の位置づけについては、共通理解が得られている。	83	80	+3	
21	生徒は、部活動と勉強との両立ができています。	80	80	0	
22	クラス活動に生徒が積極的に取り組むように、サポートしている。	94	95	-1	
23	人権尊重の教育に関する課題や指導方法について全教職員で話し合わせ、改善と工夫を行い、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている。	93	91	+2	
24	校長は自らの教育理念や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップが発揮されている。	100	74	+26	
25	この学校の教育課題や日頃の教育活動における問題意識や悩みについて、教職員で日常的によく話し合っている。	94	85	+9	
26	学校運営に教職員の意見が反映されている。	86	71	+15	○
27	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。	93	80	+13	○
28	職員会議をはじめ学年・分掌・教科・委員会等の会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	90	87	+3	
29	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われている。	82	78	+4	
30	職員の服務規律への自覚の高い職場である。	100	97	+3	
31	初任者等経験の少ない教職員を、学校全体で育成する体制が取れている。	89	84	+5	
32	研修は、社会の変化に即した課題を取り入れるなど、教育実践に役立つような内容となっている。	94	93	+1	
33	事故、事件、災害にたいして迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担・体制が明確化されている。	99	91	+8	
34	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	99	94	+5	
35	生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。	74	66	+8	○
36	清掃活動が行き届いていて、清潔である。	83	89	-6	○
37	施設・設備について日常的に点検や管理が行われ、事故の防止に配慮されている。	94	96	-2	
38	各教科・委員会等の備品や教材教具が適正に配置され、十分に活用されている。	91	84	+7	
39	保護者が授業を参観する機会が多い。	96	99	-3	
40	小・中学校の児童・生徒やその保護者に、本校の教育方針・内容・特色が正しく伝わるようにつとめている。	100	97	+3	
41	学習講座(1年4月)	94	92	+2	
42	社会人講演会(1年11月)	95	95	0	
43	京大見学会(2年6月)	95	98	-3	
44	宿泊研修(修学旅行2年10月)	97	97	0	
45	学部学科紹介(3年6月)	95	95	0	
46	天高アカデメイア	97	95	+2	
47	SSHや GL の教育活動は本校にとり、有意義である。	100	93	+7	

概ね肯定的な意見が多く、本校のミッションや特色を教職員集団が理解し、共有しながら教育活動を行うことができていると考える。「学校運営に教職員の意見が反映されている」の肯定的意見が、昨年度より 15 ポイントアップし 86%に、「教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている」の肯定的意見が 13 ポイントアップし 93%となっている。しかし、「生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている」の項目は、肯定的意見が前年度より 8 ポイントアップしているが 74%であり、さらなる改善が必要である。

47 項目中、肯定的意見が減少した項目は 8 項目。5 ポイント以上ダウンしたのは「清掃活動が行き届いていて、清潔である 83% (▲6)」のみであった。しかし、これは生徒の清掃活動にかかる肯定的評価のアップとは乖離しており、生徒の意識をより高める必要がある

1 学年

生徒アンケートの結果において「Q5.本校の活動を通じて他校と交流の機会がある」と「Q15.大学生等の卒業生と話聞く機会が多く刺激を受ける」、「Q7.授業だけで進路実現に必要な力が身につく」、「Q23.部活動と勉強の両立ができています」の項目が学校平均と比べて低い水準となっていた。Q5,15 の結果から、他校や卒業生との交流がまだできていない生徒が多くいると考えられる。今後も校内だけでなく外部とのイベントなどの周知や参加できるような声掛けを続けていく必要がある。Q7 に関しては、まだ 1 年生ということで判断しかねている生徒が多いのではないと思われる。Q23 については 3 年生が 90%,1・2 年生ともに 77%という内訳で、部活動と勉強の両立ができています部員は 8 割以下であり、課外活動と勉強のバランスがとれているかどうかの見極めや声掛けなどが生徒との関わりの中で重要だと考えられる。保護者アンケートの結果においては「Q8.学習内容や進度等と、懇談や通信などによって知ることができる」「Q16.進路指導面では学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。」「Q23.学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。」の項目が学校平均と比べて低い水準となった。これら数値は担任中心で行う個別の家庭連絡に関してではなく、全体連絡の方に関するものとしてとらえられる。記述の方でも「さくら連絡網をもっと活用して学校の様子を教えてほしい。」という声をいただいたが、本校では「生徒と保護者での直接的なコミュニケーションを大切にしたい」という観点から、全体の家庭への連絡や学校での出来事などは、原則さくら連絡網を通じて行っていない。どうすれば、各家庭において「生徒から保護者へ」学校での出来事や連絡等必要な情報を伝えることができるのかを考えながら発信していく。

2 学年

生徒アンケートの結果、多くの項目で肯定的な答えの合計が 90%を超えている。とくに「Q5.本校の活動を通じて他校と交流の機会がある」と「Q11.いじめや学校生活の悩みに親身になって応じてくれる教員がいる」の項目で学校平均よりも高い値であった。これはそれぞれ、2 年生の各種イベントで他校との交流の機会が他学年と比べ多いことや、担任の先生を中心として、生徒との対話をしっかりしていただいていることが反映されていると考えられる。また、保護者アンケートの結果では、多くの項目で肯定的な答えの合計が 90%を超え、特に「Q4.先生は子供を理解している」、「Q11.学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」、「Q14.子供の心身の健康について、気軽に先生に相談できる」、「Q16.進路指導面では学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている」では肯定的な意見の合計が学校平均よりも 2 ポイント以上高い値であり、「Q10.学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる」では、選択肢 1 の「よくあてはまる」と答えた割合が高かった。これらの結果も担任を中心として、保護者に対して適切な情報共有を実践できている結果だと思われる。

3 学年

生徒アンケートの結果、ほぼすべての項目で前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった。また、今年度の学校平均と比べてもほぼすべての項目で高い肯定率を示した。中でも「Q6.満足できる授業」「Q7.授業だけで進路実現に必要な力が身につく」「Q9.工夫ある授業がされている」などの授業に関する項目、「Q11.いじめ等に対して相談できる教員がいる」「Q12.保健室に行きやすい」などの教育相談的な側面の項目がともに高い肯定率を示していることは評価に値する。また、保護者アンケートの結果も生徒の回答に準じる結果を示しており、各家庭で学校の様子をよく共有していただいていることが伺える。Q8.Q23.の情報提供に関する 2 項目の肯定率が際立って高く、定期的な情報発信が評価されたものと考えられる。

一方で、「Q14.子どもの心身の健康について相談しやすい」の項目は学校平均と比べて 2%低く、相談体制の構築については反省点が残る結果となった。

生徒が学校を信頼してくれていると同時に、保護者からも学校の活動・指導にある一定の理解を示していただけていると考えられる。卒業まで今までの方針を曲げずに生徒と向き合っていきたい。

教務部

授業や学習に関する設問については生徒、保護者、教職員とも概して高い。生徒6「内容が分かりやすく満足できる授業が多い」：92.3%（昨年比+0.2%）、教職員6「各教科において教材の精選・工夫を行い、学問への興味・関心を醸成している」：97%（同-2%）となり、「授業第一主義」という柱が教員・生徒にも根付き、教員が授業力の向上に取り組み、生徒も授業を理解するために予復習などに全力で取り組む相乗効果が高い満足度を支えていることがうかがえる。保護者7「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」：79.7%（同+3.2%）となり、生徒はただ楽しくわかりやすい授業を求めているわけではなく、思考を深め、好奇心・探究心を満たすような授業を求めていると考えられる。補習・講習に関しても生徒8：94.1%（同+1.5%）、教職員7：93%（同+0%）、教職員8：97%（+6%）と一定の評価を得ている。教員に対しては、引き続き「桃陰塾」「公開研究授業」「授業力向上の会」などを通じて、「授業第一主義」の意識を高めていきたい。

今後の課題として、生徒7「授業だけで進路希望達成に必要な学力がつく」：79.6%（同+2.0%）という部分に関して、教職員5「生徒の能力を十分伸ばしている」91%（同-3%）となっていて意識の違いがある。生徒自身が学校の授業で進路実現が可能だということを感じられるよう、今後も教員間での情報交換や様々な教員研修などを通して授業力向上の取り組みを続けていく必要がある。

生徒指導部

生徒指導・行事・部活動に関する項目において、肯定的回答の割合が高かった。（昨年とほぼ同数値）。

生徒に対するアンケートにおいて、「学校に行くのが楽しい。」92%、「学校での友人関係はうまくいっている。」97%、「学校生活について先生の指導に納得できる」81%、「学校行事の多いことは本校の特色として魅力的だ」95%、「学校行事全般に対して積極的に参加している」93%、「行事等において HR 活動に積極的に関わっている」89%、「部活動に参加している」99%、「部活動に積極的に取り組んでいる。」94%、「部活動と勉強の両立ができています」80%、「部活動での人間関係はうまくいっている」94%。おおむね学校生活に積極的に参加し、良好な人間関係を築けているようである。ただ「部活動と勉強の両立ができています」という項目において、3年生 90%、1.2 年生それぞれ 77%と学年によって差がでた。引退している3年生と実際に部活動をしている1.2 年生での差だと考えられる。両立に苦しむ生徒が一定数いることを理解し、指導に当たっていくことが必要だと考えられる。

保護者に対するアンケートにおいて、「子供は学校に行くのを楽しみにしている」90%、「子供は自分のクラスが楽しいと言っている」89%、「学校の雰囲気がよく、子供たちが生き生きしている」95%、「学校の生活指導の方針に共感できる」89%、「学校行事は、子供が積極的に参加できるように工夫されている」95%、「この学校の部活動は活発である。」97%。これからも本校の特色である行事・クラブを活発に行えるようにしていく。教員に対するアンケートにおいて、「学校行事が多いことは、本校の特色として魅力的だ」94%、「各学校行事の取り組みにあたり、本校教育活動全体に果たす役割が十分認識されている」92%、「各学校行事が生徒にとって魅力あるものになるよう、工夫・改善をおこなっている。」93%、「本校教育活動における部活動の位置づけについては、共通理解が得られている。」83%、「生徒は、部活動と勉強との両立ができています」80%。本校教員は本校教育活動における行事や部活動の位置づけを理解し、日々校務にあたっていることがわかる。

生徒指導部として、これからも生徒にとって何が大切かを軸に校則や指導について考えていく。

進路指導部

新課程入試初年度ということで、教員、生徒、保護者の各々に対して、最新進路情報の提供に気を配りながらの1年であったので、教員結果の「1 4. 進路指導について必要な情報収集や教職員に対する研修を適切に行っている」97%（昨年比+4%）、保護者結果の「1 7. 学校は教育情報についての提供の努力をしている」94.5%（同+0.3%）と高い水準にあり、安心している。新課程入試の傾向や結果についての発信も引き続き実施したい。

気になる点としては、保護者結果の「1 6. 進路指導面では学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている」で83.4%（同-2.8%）で、「よくあてはまる」と「あまりあてはまらない」がそれぞれ3%ずつ増加しており、保護者の認識に二極化が起きている。進路通信・学年通信などを発行しているが、各家庭において生徒から保護者まで届いているかどうかで差が出ていると分析している。

また、昨年度低下していた桃陰セミナー・部学習・土曜講習についての項目の数値については改善してお

り、引き続き自学自習のための土曜活用を生徒に意識させていきたい。

保健部

【相談活動】生徒回答のうちで「いじめや学校生活の悩みに親身になって応じてくれる教員がいる」の肯定的回答は91.6%、「相談室や保健室に行きやすい」の肯定的回答は79.8%、保護者回答のうちで「学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる」の肯定的回答は87.5%、「子供の心身の健康について気軽に先生に相談できる」の肯定的回答は84.6%であり、教員回答のうちで「相談活動」に関する項目9～12も全て90%を超えている。「相談活動」について、昨年同様高水準を維持しているといえる。相談内容については、従来通りのきめ細やかな対応をするのに加えて、遠隔授業の新たな制度導入などこれまでにない対応を必要とするものも増加しており、学校全体の相談体制が充実していることは、学校運営においての必須条件となっている。

【美化】「清掃活動に取り組み清潔が保たれている」に対する生徒の肯定的回答は87.4%、教員の肯定的回答も83%で、昨年同様高水準である。引き続き、大清掃やクリーニスト活動等を通して、清掃を自らの生活習慣に関わるものとして捉えて、環境美化の意識を高めるように働きかけていく。ただし、金曜日が一斉退庁日のために清掃が無く、土曜日に行事等がある場合には汚れの残る箇所もあるため、清掃のタイミングについて考慮する必要がある。

【安全】別途実施した安全点検の結果も受けて、危険な箇所の補修・整備に努めている。「施設・設備の適切な整備」に関する項目について、生徒の肯定的回答は82.5%、教員の肯定的回答は94%である。次年度以降、人員配置の都合上で安全点検の回数を2回に減らすことになるが、その変化による支障が起きないように配慮する。また、消火栓・非常口のライトを含め依然として施設の老朽化に対する心配の声もあるため、可能な限りの改修がなされることが望ましい。トイレについては、今年度中にほぼ全ての便器が洋式化するなどの改修が行われた。

企画渉外部

教職員の「保護者が授業を参観する機会が多い」96%、保護者の「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」97.0%、「学校は、保護者が授業を参観しやすい工夫を行っている」90.8%、「PTA 活動には参加しやすい」68.7%は、例年と大きく変わらず、授業参観を含め各種行事が、保護者が参加しやすいものになっており、一定の理解を得られていると考える。

保護者より、海外派遣・留学に関する制度の拡充を求める声がいくつか寄せられた。府教委より新たに設定される短期留学支援制度の利用、桃陰奨学財団との連携によって、海外派遣・留学制度を整理および拡充していき、天王寺高校の魅力の向上につながるよう努めていきたい。

GLSSH

生徒アンケートの設問 38「SSH・GL 事業は有意義」の肯定回答が 95.1%であった。SSH・GL 事業が本校内外で多種多様のイベントを運営していること、生徒の主体性やキャリアデザイン形成のために有益かつ貴重な経験ができる場面設定を提供していることが認知されていると考える。設問 5「本校の活動を通じて他校との交流の機会がある」の肯定回答も昨年度+7.8 の 77.3%であったが、ここにも SSH・GL 事業が寄与していると考える。突出人材育成を求められる本校にとって、SSH・GL 事業の評価が高いことは生徒の要求に本校が応えていることだと担当者は考えている。生徒への案内は担当者で精査し、少しでも多くの機会を提供できるよう努めているが、今後は「SSH 通信」を発行して、更なる情報共有を図る計画である。

保護者向けに SSH・GL について直接問う設問はないのだが、保護者アンケートの設問 5「この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる」の肯定回答が 97.7%、設問 21「学校は環境・国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている」の肯定回答が 92.7%である。SSH・GL 事業に対する高評価がこれらの数字に反映されていれば幸いである。

本年は教員アンケートの設問 47「SSH や GL の教育活動は本校にとり、有意義である」の肯定回答が 100%であった。本校のキャリア教育の根幹である SSH・GL 事業のさらなる深化をめざすことで、グローバル人材、科学技術人材の育成に努める。